

海洋建築工 学科・専攻

No.	タイトル	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由	推薦書に関連する図書の情報				備考	
						学 年	配架(希望)先			資 料 名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
							駿河台 校舎	船 橋 校舎							
1	海洋建築入門-新しい生活空間を求めて-	佐久間昌昭	講談社	1983	教授	居駒知樹	全学年	○	○	建築家・建築技術者がなぜ海を目指したのか。40数年前の社会状況を理解しながら、現代に照らし合わせて読むことができる。建築の教育を受ける者が海の利用計画にどうかかわるべきなのかのヒントとなる。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
2	地震と建築	大崎順彦	岩波新書	1983	教授	北嶋圭二	全学年	○	○	まだ建築構造を勉強していない人でも、“地震の時、建物がどうなるのか”、基礎的な内容がわかり易く書かれています。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
3	空間・構造・物語-ストラクチュアル・デザインのゆくえ	斎藤公男	彰国社	2003	教授	北嶋圭二	全学年	○	○	日本大学名誉教授の斎藤先生が執筆された“空間構造デザイン”の入門書。空間構造の多様な展開とエンジニアの独創性、構造デザインの可能性やアーキテクトとエンジニアのコラボレーションについて綴られています。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
4	建築をめざして	ル・コルビュジェ	鹿島出版会	1967	特任教授	小林直明	全学年	○	○	コルビュジェの言葉に「住宅は住むための機械」というものがある。建築には機能が備わっている必要がある。水に浮かぶ機能のない船は船ではなく、空を飛ぶ機能のない飛行機は飛行機ではない。それと同様に住むことができない住宅は住宅ではない。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
5	東日本震災の科学	佐竹健司 堀宗朗	東京大学出版社	2012	教授	星上幸良	全学年	○	○	2011年3月の東日本大震災の事象に関わった東京大学の研究者が網羅的に描いた本です。津波防災やまちづくりに興味のある学生は一読を。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				

海洋建築工 学科・専攻

No.	タイトル	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由	推薦書に関連する図書の情報				備考
						学 年	配架(希望)先			資 料 名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	
							駿河台 校 舎	船 橋 校 舎						
6	謎解き・海洋と大気の物理	保坂直紀	講談社	2003	特任教授 小林昭男	全学年	○	○	海流と気流の動きのメカニズムが分かり易く簡単に解説されています。海の現象への関心が高まりますし、海洋実習Ⅰや基礎海洋学の予備学修にも最適です。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				
7	老いる家 崩れる街 住宅過剰社会の末路	野澤千絵	講談社	2016	特任教授 小林昭男	全学年	○	○	日本は人口減少なのに住宅過剰社会で、その動向から脱却するための方策が述べられています。空き家が増えているのに郊外では無秩序に住宅が建設されている理由もわかる面白い本です。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				
8	日本列島100万年史-大地に刻まれた壮大な物語-	山崎晴雄 久保純子	講談社	2017	特任教授 小林昭男	全学年	○	○	日本列島の形成過程と地域ごとの地形の成り立ちが分かり易く書かれています。地形ゆえの都市のかたちにも触れていますし、地盤条件が地域ごとに異なる理由もわかります。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				
9	日本の都市は海からつくられた	上田篤	中公新書	1996	特任教授 桜井慎一	全学年	○	○	海洋国家と呼ばれる日本の大都市の多くは海に面した土地に形成されてきた。本書を読むと、日本人の祖先と海との関係、海そのものや海岸地形を大切にしなければいけない理由がよくわかる。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				
10	近代建築の失敗	P. ブレイク	鹿島出版会	1979	特任教授 桜井慎一	全学年	○	○	世界に普及した20世紀型の近代建築は万能ではないということを、機能、オープンプラン、超高層ビル、ハウジングなど11の幻想として、その限界性を述べている。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				

海洋建築工 学科・専攻

No.	タイトル	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由	推薦書に関連する図書の情報				備考	
						学 年	配架(希望)先			資 料 名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
							駿河台 校 舎	船 橋 校 舎							
11	構造と感性-構造デザインの原理と手法-	川口衛	鹿島出版会	2015	准教授	惠藤浩朗	全学年	○	○	単なる知識や技術による機械的な適用ではなく、五体、五感を総動員して行う「構造デザイン」とはどういうものか、その感性を学び、またその感性を磨ける一冊です。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
12	耐震構造への道	梅村魁	技報堂出版	1989	教授	高橋孝二	全学年	○	○	まさに日本の耐震構造の歴史が綴られている書のひとつです。構造系科目群の科目を学修する前には是非読んでおきたい一冊です。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
13	海の教科書-波の不思議から海洋大循環まで-	柏野祐二	講談社ブルーボックス	2016	准教授	山本和清	全学年	○	○	海には陸域にはない様々な特性があります。海洋建築初心者の皆さんが海洋建築を学ぶ上での空間の特性を活かした計画力やデザイン力が身に付くでしょう。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
14	興亡の世界史-イタリア海洋都市の精神-	陣内秀信	講談社学術文庫	2018	准教授	山本和清	全学年	○	○	古よりヨーロッパの地中海は民族の争いと交流の大舞台であり、中でも海洋都市国家の原点ともいえるイタリアの沿岸都市の成り立ちを読み解いている本書は、わが国沿岸部のまちづくりに対して新しい夢を抱かせる内容となっています。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
15	木に学べ-法隆寺・薬師神の美-	西岡常一	小学館	2003	准教授	佐藤信治	全学年	○	○	日本最古の木造建築物である法隆寺の金堂の大修理や、薬師寺の金堂及び西塔などの解体修理によって復元を果たした最後の宮大工棟梁である西岡常一の生涯を書籍化したもの。日本人が感じる美しさは天平時代から令和まで連続と繋がっていることを教えてくれる名著である。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				

海洋建築工 学科・専攻

No.	タイトル	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由	推薦書に関連する図書の情報				備考
						学 年	配架(希望)先			資 料 名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	
							駿河台 校 舎	船 橋 校 舎						
16	数値流体力学	越塚誠一	培風館	1997	准教授 相田康洋	全学年	○	○	非圧縮性流れに的を絞った数値流体力学の書籍。偏微分を勉強した後なら苦もなく読み進めることができるはず。最近の数値流体力学のトレンドでもある粒子法についての記載も充実しており、数値流体力学を勉強し始める人には是非読んでもらいたい一冊。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				
17	路上観察学入門	赤瀬川原平 南仲坊 藤森照信	ちくま文庫	1993	助教 菅原遼	全学年	○	○	建築計画を学ぶ上で磨いてほしい能力は多々ありますが、その1つが都市・建築・人間行動に対する「観察力」です。本書では、街路空間から街ゆく人の服装、さらには漫画に描かれた都市の描写から「現代を読み解く大切さ」を教えてください。読みやすい1冊です。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				
18	都市を変える水辺アクション実践ガイド	橋爪紳也	学芸出版社	2015	助教 菅原遼	全学年	○	○	近づきたい水辺空間... というのもう昔の話。現代の都市・地域計画では都市環境の水辺を如何に活かすかが重要な視点となっています。本書は、オープンカフェや水上アクティビティ等「水辺を使いこなす」実践者による水辺の賑わい創出の指南書となっています。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				
19	東京臨海論-港からみた都市構造史-	渡邊大志	東京大学出版社	2017	助教 菅原遼	全学年	○	○	東京五輪の舞台として話題の「東京臨海部」。その重要拠点である東京港の形成過程やその政治・経済・計画的背景に関して、膨大な史料に基づきまとめられています。海洋建築のフィールドとなる港や埋立地の歴史的背景を知ることができる1冊です。	1				
										2				
										3				
										4				
										5				

海洋建築工 学科・専攻

No.	タイトル	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名	選書で想定する対象者			推薦理由	推薦書に関連する図書の情報				備考	
						学 年	配架(希望)先			資 料 名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
							駿河台 校 舎	船 橋 校 舎							
20	観光まちづくりのエンジニアリング	安島博幸	学芸出版社	2009	助教	寺口敬秀	全学年	○	○	幅広い都市計画の中で、学生にとって身近な観光に焦点を当てた本です。観光振興でも地域の特色・景観・水域をどう保護・活用するかは重要な課題。各地の事例紹介から社会調査の方法まで、幅広く知ることができます。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				
21	日本の港湾政策-歴史と背景-	黒田勝彦	成山堂書店	2014	助教	寺口敬秀	全学年	○	○	明治から現在まで、日本の国際化や経済発展を支えてきた港湾の歴史をまとめた一冊。世界の中で日本の港湾はどのような位置付けだったのか、また今後どう変化していくべきなのか、この本を読んで考えてみてください。	1				
											2				
											3				
											4				
											5				